

# ワンヘルスの実践と人獣共通感染症から県民を守る施策に関する条例の制定を目指しています!!

福岡県議会では、6月定例会で議決・発出した「人獣共通感染症への対応力の強化に関する決議」に基づいて、「ワンヘルス」実践の仕組みの一つとなる条例の制定を目指し、議員提案政策条例検討会議で条例素案をまとめました。

《条例制定の背景》近年、相次いで人類を襲うようになった新型コロナウイルスやMERS、SARSといった感染症は、**人獣共通感染症（動物由来感染症）**と呼ばれ、人の感染症（1400種以上）の約6割を占めていますが、自然の生態系を乱す開発行為など、人と動物の生活環境や自然環境の変化に伴い両者の関係がより近接したことから、動物の感染症が抵抗力を持たない人に感染し、猛威を振るうようになったとされています。

このように人と動物の健康並びに環境の健康（良好な自然環境の保全状況）は、密接に関連し合う一体のものであることから、今、世界医師会と世界獣医師会、そして、（公社）日本医師会と（公社）日本獣医師会は、連携して、「**人と動物の健康、そして環境の健康を一体のものとして守る**」という「ワンヘルス」の理念を提唱し、その実現に取り組んでいます。

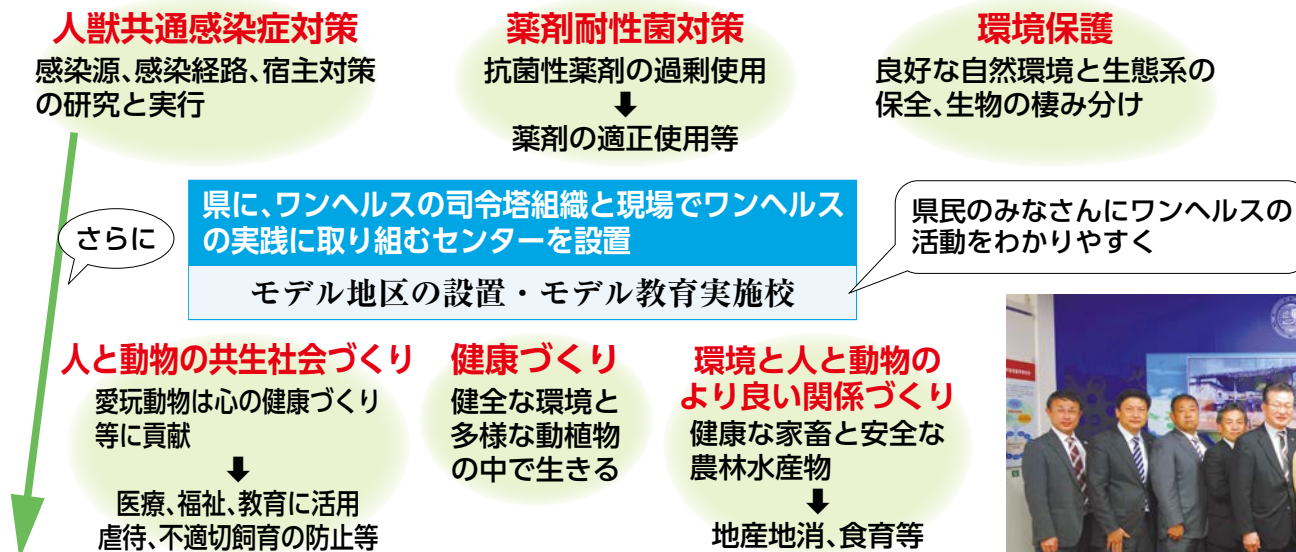
特に本県では、2016年11月北九州市で開催された「第2回世界獣医師会・世界医師会“One Health”に関する国際会議」において、ワンヘルスの理念を実践する上で基盤となる「福岡宣言」をまとめ、さらに、本年6月定例会で、条例制定を含めた「人獣共通感染症への対応力の強化に関する決議」が議決されたことで本条例制定の方向性が確定しました。

## 条例案の骨子

※条例案(素案)は現在パブリックコメント中です。詳しい内容は、県議会のHPをご覧ください。ただし、この記事は11月上旬現在の条例案で作成。一部変更されることがあります。

### I ワンヘルスの推進

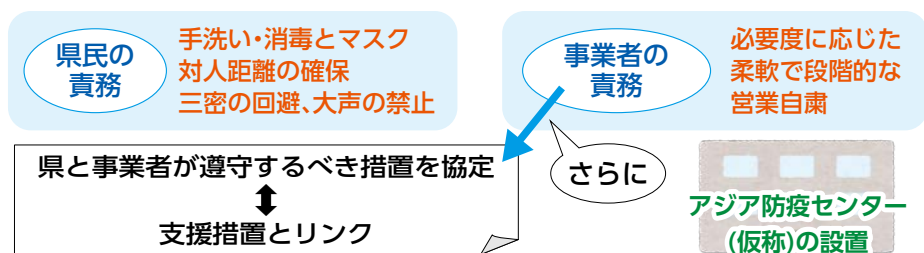
この条例は、ワンヘルスの推進に関する規定を定める章と人獣共通感染症対策の推進に関する規定を定める章の二つの柱で構成します。まず、ワンヘルスの推進は、次の6つの柱（基本方針）により実践し、具体的な取り組みは実行計画で定めます。



### II 人獣共通感染症対策の推進

～新型インフルエンザ等対策特別措置法による緊急事態宣言が発動する前に～

#### 福岡県独自に新感染症の発生を段階的に警告



新興感染症研究で日本のトップクラスの実績を有する長崎大学熱帯医学研究所等を視察しました。（研究所スタッフ及び検討会議アドバイザーとともに）

#### 「議員提案政策条例検討会議」委員

自民党県議団	香原 勝司（座長）	公明党	大塚 勝利
自民党県議団	中牟田伸二	公明党	西尾 耕治
自民党県議団	渡辺 勝将	緑友会	江口 善明
民主党政県議団	渡辺 美穂	緑友会	堀 大助
民主党政県議団	佐々木 允		

## 定例会の概要

令和二年九月

9月定例会は、9月10日に召集され、会期中に設置された決算特別委員会を含め、10月14日まで35日間の会期で審議が行われました。開会日の冒頭には、令和2年7月豪雨および台風10号で犠牲になられた方々へ深い哀悼の意を示すため議場において黙とうが行われました。今定例会には、「新型コロナウイルス感染症対策」「令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策」「安全・安心、地域防災力の強化等」に取り組むための令和2年度補正予算案2件に加え、「福岡県希少野生動物植物種の保護に関する条例の制定について」など条例議案9件、専決処分したものについて報告し承認を求めた議案1件、工事請負契約の締結に関する議案2件、経費負担に関する議案6件、人事に関する議案3件、その他の議案1件計24件が提出されました。さらに、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備え、医療提供体制の強化と感染防止対策の徹底を図るため令和2年度補正予算案2件、「令和2年度福岡県一般会計決算」など決算関係議案20件、計22件の議案が追加提出されました。審議に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策、豪雨災害問題、農政問題、商工問題、教育問題など県政全般にわたる活発な論議が交わられました。審議の結果、決算関係議案を除く26件について、いずれも原案のとおり可決、承認または同意されました。また、決算関係議案20件についても、決算特別委員会において熱心な議論が行われ、認定、または原案可決及び認定されました。（6面に決算特別委員会の審査内容のまとめを掲載しています）